

Title	専賣ト戦後財政
Author(s)	小川, 郷太郎
Citation	經濟論叢 (1915), 1(4): 497-518
Issue Date	1915
URL	https://doi.org/10.14989/126915
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

學大科法學大國帝都京

叢論濟經

號四第 卷一第

論說

- 收益ト生産費トノ關係
- 專賣ト戰後財政
- 經濟學認識論ノ若干問題(二卷)

雜錄

- 危險分散主義ノ原則
- 經濟主義ニ就テ
- 英吉利ノ農政問題(三卷)
- 享保年間ノ米價調節(二卷)

雜報

- 經濟的進化ト人口法則(二)
- 戰爭利得稅新案
- 獨逸帝國全體ニ亘ル半官企業組織新說
- 英國ノ戰費ト經濟
- 獨逸ノ植民の運動ノ回想
- 相續稅ト家族制度
- 本多利明ノ著書ニ就テ
- こんらト教授遊ク

法學博士 河上 肇
 法學博士 小川郷太郎
 フクトル 商學士 左右田喜一郎

法學博士 神戸 正雄
 法學博士 戸田 海市
 助教授 河田 嗣郎
 法學士 本庄榮治郎

講師 米田庄太郎
 法學博士 小川郷太郎
 法學博士 神戸 正雄
 助教授 河田 嗣郎
 助教授 山本美越乃
 法學博士 神戸 正雄
 法學士 本庄榮治郎
 助教授 河田 嗣郎

專賣ト戰後財政

法學博士 小川 郷 太郎

第一 戰後財政ニ於ケル租稅ト專賣

歐洲戰爭勃發シテヨリ既ニ一年ヲ超ユ、未タ何レノ時ニ終熄スルカヲ知ラス、各交戰國カ今日迄ニ費セル戰費ハ五六百億圓ニ達セリト云フ、若シ曠日彌久、尙來年ニモ及ハハ、戰費ノ千億圓ヲ數フル亦疑フベカラズ、而シテ此戰費ハ各國多ク公債ヲ以テ辨スルカ故ニ、年年ノ公債利子ハ四五十億ニ上ルベシ、之ニ搗テテ加ヘテ、戰後ニ於テハ戰死者ノ遺族ヲ扶助セサルベカラズ、戰爭ニヨリテ打破セラレタル城寨、軍艦、軍器ヲ改築セサルヘカラス、戰爭ハ終ルモ戰費ノ一部ヲ爲セル經費ハ繼續シテ已マサルベシ、故ニ各國ノ經費ハ、戰後ニ於テ非常ニ膨張スルモノト覺悟セサ

ルベカラス Braun* 曰ク戦後ニ於ケル經費ハ戦前ニ二倍セント、コハ獨逸ノ將來ヲ豫言シタルモノナレトモ、亦移シテ以テ他ノ交戦國ノ將來ヲ推スベシ。

夫レ然リ經費既ニ倍ス、收入モ亦倍セサルベカラズ、然ラハ如何ニシテ其收入ヲ得ベキ乎、是レ戦後ニ於テ解決セザルベカラザル大問題ナリ、何レニスルモ戦後ノ財政ハ一大變革ヲ免ルルコト能ハザルナリ。

各交戦國ノ財政ハ戦後ニ於テ根本的ニ改造セラレザルベカラス、然リ而シテ其戦後財政ノ中心ヲ爲スモノハ、依然トシテ租税ナラン、然レドモ租税ハ必スシモ容易ニ二倍モ三倍モ増シ得ベキモノニアラズ、之ヲ收利税即チ所謂直接税ニ就テ見ルニ、税率ヲ倍ニスルモ必シモ二倍ノ收入ヲ齎シ來ルベキモノニアラス、蓋シ税率高マレハ高マル程虚偽ノ申告ヲ甚シクスヘケレハ也、之ヲ交通税ニ觀ルモ亦同シ、若シ、高率ヲ課セハ交通取引却テ減少シ、租税收入從テ減スヘケレハナリ、之ヲ消費税ニ就テ觀ルモ普通ノ課税方法ニヨリテ(意)税率ヲ高フスルトセンニ、擔税力ニ應シテ之ヲ課スルニ由ナケレハ、社會上ノ不公平ヲ増スノミナラズ收入モ亦十分大ナルヲ得サルヘシ、且ツ各人ハ一方ニ於テハ消費ヲ節シ他方ニ於テハ爭テ脱税ノ

* Braun. Elektrizitätsmonopol (Die Neue Zeit 33. Jahrg. Bd. 1. Nr. 9. S. 584)

道ヲ講ズベケレハ莫大ノ增收ヲ期スヘカラサルナリ。

蓋シ脱税ヲ爲スモノアレハ之ヲ豫防セサルヘカラス、之ヲ妨クニハ監視ヲ嚴ニセサルベカラズ、監視ヲ嚴ニスルニハ多クノ稅務官ヲ置カザルベカラズ多クノ稅務官ヲ置クハ、徵稅費ヲ嵩ムルコトトナルナリ、徵稅費嵩マレハ假令他方ニ納稅多キモ、差シ引キ國庫ヲ利スルコトナシ、是ニ於テ徵稅費ヲ高メスシテ而モ擔稅力ニ應ジテ課シ以テ租稅收入ノ多キヲ期スル方法ナカルヘカラス、專賣即チ是ナリ、故ニ各國戰後ノ財政ハ其急ヲ救ハンカ爲ニ專賣制度ニ向テ走ルヘキナリ、是レ勢ナリ、余ハ故ニ曰ハントス、戰後ハ專賣制度ノ重キヲ爲ス時代ナリト。

交戰國ノ多クハ既ニ專賣制度ヲ存ス、埃匈、佛、伊、露、塞、土等ノ如シ英獨ニ至テハ之ヲ存セス、然レトモ獨逸ニ於テハ戰前石油專賣ヲ企テリ、專賣制度ヲ起スノ機運ハ熟セルナリ、加之今日ニ於テモ學者ハ戰後財政ヲ料理スルモノ專賣ノ外ニアラジト絶叫スルモノアリ、Jaffeノ如シ*甚シキハ社會主義者モ專賣ノ已ムナキヲ論スルアリ、Braun**ノ如シ、以テ獨逸ノ思潮ヲ見ルベシ。

英國ハ自由主義ヲ以テ立ツ國ナルカ故ニ專賣制度ヲ排斥スルカ如ク見ユ、然レ

* Jaffe. Die Militarisierung unseres Wirtschaftslebens (Archiv für Sozialwissenschaft u. Sozialpolitik 40, Bd. 3 Heft S. 52b-531.

** Braun. a. a. O. S. 585 ff.

トモ、戦争カ殘セル巨額ノ經費ヲ支フベキ好財源ヲ見出ササル限り、又專賣制度ヲ閉却スルコト能ハサルベシ。

此ノ如クシテ、專賣制度ヲ存セサル國ハ新ニ專賣制度ヲ起スヘク、專賣制度ヲ存スル國ハ更ニ之ヲ擴張スベシ之ヲ交戰國ノ戦後財政ノ大勢トス。

然レトモ此大勢ハ恐ラク交戰國ニ於テ之ヲ見ルノミニ止マラサラン、何ヲ以テ之ヲ云フ、曰ク近年文明諸國ハ一方ニ經費ノ膨張シテ已マサルノ勢ヲ見ツツアルニ他方ニ之ヲ支辨スヘキ適當ノ收入ヲ發見セサルニ苦ミツツアレバナリ。

我國ハ目下獨逸ト交戰状態ニアリ、曩ニ二個師團ヲ増設シ今更ニ海軍ヲ擴張セントス、戦後經費ノ膨張スルコト寸毫モ疑フベカラズ、然ラハ則チ專賣制度ノ擴張ハ我國ニ於テモ戦後ノ一大問題タルヘシ。

現今ノ財政状態ヲ考ヘ戦後ノ財政状態ヲ想ヘハ吾人ハ如何ニシテモ專賣制度ノ盛ニナリ行クコトヲ論結セサルベカラス、然ラハ則チ專賣制度ハ時世ノ要求ニ應スヘキ資格ヲ具フルヤ、吾人ハ之ニ答フルニ先テ專賣ノ本質ヲ考究セサルヘカラス、

(註) 消費税ノ普通課税方法ハ之ヲ分テ二トス生産課税方法、流通課税方法はナリ、生産課税方法ハ其生産進行中ノ何レノ階段

ヲ捉ヘルカニ從テ自ラ三分ツコトヲ得、其生産ノ初ヲ捉フルモノ即チ原料品ノ數量性質ニ從テ税スルモノ、原料料課税ト云ヒ、其生産ノ中途ヲ捉フルモノ即チ生産ノ容器又ハ半成品ノ數量性質ニ從テ税スルモノ、製造課税ト云ヒ、生産ノ終ヲ捉フルモノ即チ製品ノ量價價格ニ從テ税スルモノヲ製品課税ト云フ。

流通課税方法ハ其財ノ移轉流通ノ何レノ階級ニアル場合ヲ捉ヘルカニヨリテ自ラ二分ツヲ得ヘシ、財力運搬中ニアルヲ捉テ税スルヲ運搬課税方法ト云ヒ、財力販賣者ノ手ニ入レル場合ヲ捉テ税スルヲ販賣課税方法ト云フ。

生産課税方法流通課税方法共ニ一長一短アレトモ、税率カ低キ間ハ差シタル不都合ナシ、税率カ高クナルニ從テ脱税益々行ハレ之ヲ取締ルコト頗ル困難トナルベシ、又消費者ハ同一ノ財ヲ消費スルモ、其擔稅力ハ同シカラス、是等課税方法ニヨレハ擔稅力ニ應シテ課税スルコト能ハサルナリ、然ルニ收入ノ大ナキセントセハ勢ヒ擔稅力ニ應シテ課税セサルベカラズ、是ニ於テ專賣課税方法ヲ生ズ

第二 專賣ノ本質

茲ニ專賣ト云フハ消費税ノ獨占課税方法ヲ指スナリ、即チ國家カ消費税ヲ課スヘキ物體ノ生産若クハ販賣又ハ生産并ニ販賣ヲ獨占スルコトヲイフ、獨逸語ノ *Steiermonopol* 是ナリ、其之ヲ專賣ト云フハ我國從來ノ用語ヲ襲踏セルノミ、從テ專賣ト云フモ販賣獨占ノミヲ意味セス、生産ノ獨占又ハ生産販賣ノ獨占ヲモ意味スルモノト知ルヘシ。

國家カアル財ノ生産若クハ販賣又ハ生産販賣ヲ獨占スルニハ、土地資本勞働ヲ

結ヒ付ケテ一ノ企業ヲ形ラサルベカラズ、故ニ專賣ハ形式上ヨリ云ヘハ一ノ國家企業ナリ、從テ專賣ハ普通所謂官業ト相似タル所アルナリ、之ヲ廣義ニ於ケル官業ト云フモ可ナリ、然レトモ專賣ハ普通所謂官業ト性質ヲ異ニスルモノアレハ飽ク迄モ之ヲ區別セサルベカラズ、

專賣ハ消費稅ヲ課スルヲ目的トス、然ルニ普通ノ所謂官業ハ消費稅ヲ課スルヲ目的トセズ、勿論專賣ニアリテモ、時ニ或ハ警察上ノ目的、又ハ國民經濟上ノ目的ヲ兼ネ有スルモノナキニアラズト雖モ、其主ナル目的ハ常ニ消費稅ノ賦課ニ在ルナリ、主ナル目的茲ニ存セハ他ノ目的ヲ兼ネ有スルモ敢テ妨クル所ナシ、普通ノ所謂官業ハ國民經濟上ノ目的ヲ有シ社會政策上ノ目的ヲ有シ又兼テ財政上ノ目的ヲ有スルヲ常トス、財政上ノ目的ヲ有スト云フモ、ソハ收入ノ多クヲ期スルト云フニ過ギズ、消費稅ヲ課スルノ趣旨ヲ有スルモノニアラス、是カ故ニ消費稅賦課ノ目的ヲ有スルト否トハ專賣ト普通所謂官業トヲ區別スル所以ノ一トナスヘシ。

專賣ハ消費稅ヲ課スルヲ目的トス、從テ專賣ノ物體トナリ得ベキモノハ消費稅ノ物體タリ得ルモノナラサルベカラズ、消費稅ノ物體タリ得ルモノハ日用品、飲料

嗜好品等ナリ、故ニ專賣ハ是等ノ日用品、飲料、嗜好品ノ生産若クハ販賣ニ於テ之ヲ見ルヘシ、生産用品ノ生産若クハ販賣、銀行、保險、交通、運輸、富籤等ノ經營ニ於テ之ヲ見ルコトナシ、之ニ反シテ官業ハ生産用品ノ生産若クハ販賣ニ於テモ之ヲ存シ、銀行、保險、交通、運輸、富籤ノ經營ニ於テモ之ヲ存ス、是レ專賣ト官業トヲ區別スル所以ノ二ナリ。

專賣ハ國家カ生産若クハ販賣ヲ獨占ス、然ルニ官業ニ於テハ國家ノ獨占ヲ必要トセズ、只國民經濟上又ハ社會政策上ノ必要ヨリ獨占トナレルモノアルニ過キス、然リ而シテ此官業ニシテ獨占トナレルモノト專賣トハ形ニ於テ同シト云フコトヲ得然レトモ官業ニ於ケル獨占ハ國民經濟上又ハ社會政策上ノ必要ニ出ツルモノナルカ故ニ常ニ必スシモ獨占價格ヲ課スヘキニアラス、國家ハ自ラ抑損シテ自由競争ニ於ケル價格ニ満足シ、甚シキハ手數料類似ノ價格ニ甘ンスルコトアリ、例ハ郵便料、電信料、鐵道ノ運費ニ於ケルカ如シ、之ニ反シテ專賣ニ於テハ消費稅ヲ課スルヲ目的トスルカ故ニ、其課稅ヲ重クスル必要アル、毎ニ獨占價格ヲ課スルニ至ルベシ*要スルニ、官業ニ在リテハ經濟政策、社會政策ニヨリテ料金又ハ代價ヲ定メ、專

* Eheberg. Finanzwissenschaft. 12 Aufl. s. 75
Scheel. Erwerbseinkünfte. Steuern (Schönberg. Handbuch der politischen Ökonomie Bd. III. 4. Aufl. III. § 5

賣ニ在リテハ租稅政策ニヨリテ價ヲ定ム、是レ專賣ノ官業ト異ル所以ノ二ナリ、(註二) 專賣ハ斯ノ如ク官業ト根本的ノ性質シ異ニス、然ルニ學者往々獨占ト云フ形式ニ因ハレ、專賣ト官業トヲ混合スルモノアリ、獨逸伊太利ノ學者ニ於テ其例ヲ見ル(註三)皆誤レリト謂フベシ。

我國ニ於テモ政府ノ議會ニ提出スル豫算ノ中ニハ專賣局益金ヲ官業收入ノ中ニ數ヘ、日本帝國統計年鑑モ亦之ニ倣ヘリ、同一ノ誤ニ陥レルモノト評セサルベカラズ。

(註一) 消費財ハ最終ノ消費ニ充テ得ルノミナラズ生産的ニ消費スルコトナキニアラス、此ノ如ク生産的ニ消費スル場合ニハ專賣價格ヲ低メテ以テ生産ヲ獎勵スルコトヲ必要トスヘシ、糖、石油、電力等ニ於テ之ヲ見ルベシ、然レトモ此ノ如キハ例外ノミ、專賣ノ眼中ニスル所ハ最終ノ消費ナリ、最終ノ消費ニ對シテハ獨占價格ヲ課スルモノト云ハサルベカラズ。

(註二) 獨逸學者ニミテ Die Monopole ト題シテ記スル所ハ、獨逸ノ官業ヲ分ダサルモノアリ Conrad. Cohn* ノ如シ又ハ國庫ノ特權 (Die Fiskalvorrechte)、トミテ專賣ト官業トヲ合セ論スルモノアリ Umpfenbach ノ如シ** 是レ畢竟專賣モ官業モ君主ノ特權 (Regalia) コリ發達シ來レル沿革的ノ理由ニ依レルモノナルヘシ。

伊太利學者ハ專賣ヲ Le private fiscali 又ハ Monopoli ト稱シ關稅 (Dazi) 内地消費稅 accise ト對立セシムルナ例トスルガ、其 Monopoli ノ中ニハ必ス富錢 (Lotto) ナ加フ、Cossa, Graziani, Lorini ノ如シ*** 甚シキハ更ニ保險官營ヲ加フルモノアリ Nuti ノ Flora ノ如シ**** 專賣ト普通所謂官業ヲ區別セサルニ至テハ即チ一ナリ。

二

專賣カ普通ノ官業ト性質ヲ異ニスルコトハ以上述フルカ如シ之ト同時ニ專賣*

Conrad. Finanzwissenschaft 6. Aufl. § 5
 Cohn. System der Finanzwissenschaft §§282-3 296
 Umpfenbach Lehebuch der Finanzwissenschaft §192ff
 Cossa, Scinza delle finanze pag. 141 - Graziani Istituzioni di Scinza delle finanze 2ed pag. 564 - Lorini Scienza delle Finanze § 100 - §103 179
 **** Nuti principi di Scinza delle Finanze 4ed. pag. 781-815
 Flora Manuale della Scinza delle Finanze 4ed. pag. 494-

ハ普通ノ消費税トモ其趣ヲ異ニスル所アルヲ知ラサルベカラズ。

專賣ハ國家カ消費税ヲ課スベキ物體ノ生産若クハ販賣ヲ獨占スルコトナリ、故ニ國家ハ其物體ノ價格ヲ特ニ高メテ之ヲ賣ルコトヲ得ヘシ、從テ消費税ハ國家カ普通ノ價格ヨリモ特ニ高メタル部分ニ於テノミ存スト云フベキカ如シ、然ルニ實際、國家カ專賣ヲ行フニ當リテハ、賣價ノ幾部分カ消費税ニ該當スベキカヲ明ニスル所ナシ、專賣ハ獨占ノ法ニ從テ賣價ヲ定ムルニ過キサレハ也、是ニ於テ學者或ハ其獨占財ノ生産費ニ超ユル販賣價ヲ以テ消費税ニ該當スルトナス、Wagnerノ如シ・或ハ其獨占利得 (Monopolgewinn) 卽チ專賣益金ヲ以テ消費税ニ該當スルトナス、Zellerノ如シ。* 前者ハ賣價ヨリ立論シ、後者ハ企業ノ全體ヨリ立論ス、結果ニ於テ異ル所ナシ是等ノ說ニヨルトキハ、國家ハ專賣ニヨリテ企業利得ヲ得ルモノニアラスト斷セサルベカラズ、スキイヘハ人或ハ曰ハン國家ハ專賣ニヨリ一ノ企業ヲ營ムモノナルカ故ニ、企業利得ヲ得サルベカラズ、專賣益金ハ消費税ノ外ニ此企業利得ヲ含ムモノト解スルヲ穩當トスト *Die* *K* カ租税ハ生産費并ニ普通ノ利得 (üblicher Gewinn) ヲ補償スル外ニ價格ヲ高ムルニヨリテ生スト云フモノ是ナリ***

* Wagner. Finanzwissenschaft 2.T, 2.Auf. S.765

**Zeller. Aufwandstern im 'Schönberg'schen Handbuch der politischen Ökonomie 4. Aufl. 3. Bd. S.472

*** Eberberg. Finanzwissenschaft 11. Aufl. S.75

然レトモ國家カ企業利得ヲ得ントシテ企業ヲ營ムハ普通所謂官業ニ於テ之ヲ見ル、國家カ專賣ヲ營ムハ之ニヨリテ企業利得ヲ得ントスルニアラス、是レ專賣ト普通所謂官業ト異ル所ナリ、サレハ專賣ノ收入ニ企業利得アリト云フハ專賣ノ趣旨ト相容レサルモノト云ハサルベカラズ、故ニ余ハ Zeller ト共ニ專賣ノ益金ヲ以テ消費稅ニ該當スルモノト云ハントス。

專賣益金ハ總收入ヨリ企業費ヲ除キタル殘餘ナリ、企業費ノ種目ハ一ニシテ足ラスト雖モ、官吏ノ俸給及ヒ專賣實施ノ當時ニ於ケル工場其他ノ買上金并ニ賠償金ニ對スル利子カ重要ナル一部分ヲ形クルコトヲ忘ルベカラズ。

專賣益金カ消費稅ニ該當ストセハ專賣益金ヲ分析シ其由テ來ル所ヲ明ニセザルヘカラズ。

專賣益金ハ第一ニ獨占價格ヲ課スルニヨリテ生ス、獨占價格ハ現在需要ノ狀態ヨリ見全體ノ上ニテ獨占者ニ最モ多クノ純收入ヲ得セシムル點ニ於テ定マルモノナリ、故ニ獨占價格ハ常ニ必シモ非常ノ高價トナルモノニアラサレトモ常ニ競争價格ノ上ニアリト云フコトヲ得、然リ而シテ專賣ノ目的物カ必需品ニシテ其價

ノ高低ニ拘ラス社會ノ需要スル所トナルモノナラハ、獨占價格ハ愈々之ヲ高メ得ベク從テ專賣ノ收入ハ益々之ヲ増シ得ベシ、又人口増加シ富ノ力進歩スレハ、社會ノ需要モ加ハルコトトナルヘキカ故ニ、獨占價格ハ之ヲ高メ得ヘク、專賣ノ收入ハ又之ヲ増シ得ヘシ、故ニ專賣ノ收入ハ時世ノ進歩ニ付テ増加スルモノト謂ハサルベカラズ。

獨占價格ノ大トナルコトハ消費者ニトリテ、快キコトニアラス、然レトモ、獨占價格ヲ高ムルハ財政上ノ必要アルカ爲メナリ、若シ專賣ナケレハ高キ消費稅ヲ課セサルベカラス、專賣ナルカ爲ニ消費者ノ苦痛ヲ増セリト云フヲ得サルナリ。

專賣ハ獨占價格ヲ課スルコト前述フルカ如シ、獨占價格ハ同一ノ品ニ對シテ同一價格タルコトヲ常トス、故ニ消費財ノ價ハ一國ヲ通シテ一様トナルヘク、所ニヨリテ變スルコトナシ、昔時歐洲ニ於テハ、鹽價處ニヨリテ異リシカ、專賣トナリテ其價格一定セリト云フ*是レ却テ一國々民經濟生活ニ於テ喜フヘキコトナリトス。

國家ハ又獨占者トシテ價格ヲ自由ニ決定スル權ヲ有スルカ故ニ、差別的價格ヲモ課スルコトヲ得、即チ品質ニヨリ、又ハ表裝其他ノ貨物ノ外形ニヨリ、等級ヲ分チ之ニ各異レル價格ヲ付スルナリ、煙草ニ敷島、大和、朝日等ノ階級ヲ附シ其價ヲ異ニ

スルハ其適例ナリ、(註二)此ノ如クスルトキハ購買者ノ能力ニ應シテ相當ノ價格ヲ拂ハシムルコトヲ得ルナリ、是レ應分擔税ノ元則ノ適用ニシテ擔税力ノ大小ニヨリテ税額ヲ加減スルノ趣旨ニ外ナラサルナリ、此ノ趣旨ハ生産課税方法流通課税方法ニ於テ之ヲ達スコト能ハズ、獨リ專賣ニ於テ之ヲ期スルコトヲ得ルナリ、然ルニ各消費者ハ能力ニ應シテ財ヲ買フカ故ニ苦痛ヲ感スルコト、大ナラズ、國家シ方ヨリ見レハ之カ爲ニ大ナル收入ヲ得ヘキナリ、故ニ專賣ハ人民ニ苦痛ヲ感セシムルコト少ク擔税力ニ應シテ之ニ課シ以テ收入ヲ大ニスルコトヲ得ル方法ト云ハサルベカラス。

專賣益金ノ多キ所以ハ尙之ニ止マラス。企業費ノ減少モ亦與テ大ニカナクンハアラズ、企業費ノ中ニハ專賣トナレルカ爲ニ減少スルコトナキモノモアレトモ、過多ノ小賣商、中間商ヲ省キ廣告ヲ省キ以テ經費ヲ減シ得ルモノモ少シトセス、故ニ專賣ハ國民經濟上ヨリ見テ企業費ヲ減スルモノト云フコトヲ得、專賣ノ純收入ハ總收入ヨリ企業費ヲ控除シタル殘餘ニ外ナラス、企業費少ケレハ專賣ノ總收入ハ愈々増加ス換言スレハ消費税ノ額ハ大トナルナリ、然レトモ、人民ハ之カ爲ニ少シ

モ負擔ヲ感スルモノニアラズ蓋シ此收入ハ負擔カ人ニ轉セシテ物ニ轉スルモノトモ見ルコトヲ得ベケレハナリ是レ原料課税ノ爲ニ生産者カ生産ニ工夫ヲ凝ラシ生産費ヲ減シ事實之ヲ消費者ニ轉セサルニモヒスヘシ是レ亦一種ノ消轉(walzung)ト云フヘキナリ。

以上論スル所ニ由テ之ヲ觀レハ專賣ハ獨占價格ニヨリ差別價格ニヨリ企業費ノ減少ニヨリ人民ニ比較的苦痛ヲ感セシメス而モ擔稅力ニ應スル課稅ヲモ爲シ得テ以テ莫大ノ收入ヲ得ルモノト斷セサルヘカラス以テ普通ノ消費稅ト大ニ選ヲ異ニスルコトヲ知ルベシ(註二)

(註一) 清酒ニ統テ考フルモ、我國現今ノ酒造稅法ニヨレハ酒精分二十度以下ノ清酒ハ一石ニ付キ、金貳拾圓ノ稅ヲ拂フコトトナレリ、而モ其間ニ眞酒ト惡酒トヲ分ツコトナシ、若シ專賣トナレハ酒ノ眞惡ニヨリ又ハ他ノ標準ニヨリ、多クノ階段ヲ付シ各異レル價ヲ定ムルコトヲ得ヘシ。

(註二) 專賣ハ消費稅ノ一形式ナレハ、官業ト同一視スルコトヲ得サルハ勿論ナルガ、專賣ハ普通ノ消費稅トモ異リ人民ニ負擔ヲ感セシムルコト少クシテ收入ノ多キヲ致スモノナレハ、統計上、之ヲ取扱ナ異ニセサルベカラス、即チ、一國ノ財政統計ハ專賣、金ヲ消費稅收入ノ一項目ニ加ヘサルベカラサルモ、之ト合算セス、別個ノ計算ヲ示シ以テ租稅負擔ノ輕重ヲ考慮斟酌スルニ似セサルベカラサルナリ。

第三 專賣ノ範圍并ニ其擴張

專賣ノ本質ヲ研究シテ、余輩ハ、之レカ人民ニ苦痛ヲ感セシムルコト少クシテ而モ收入ヲ齎ラスコトノ大ナルヲ知レリ、是レ誠ニ戰後財政難ヲ救フニ最モ適セルモノタラズンハアラズ、專賣ハ其本質上ヨリシテ戰後財政難ヲ救フヘキ好個ノ財源ナリト斷スルコトヲ得ベシ。

專賣カ本質上ヨリシテ戰後財政ニ重キヲ爲スモノト云ハバ專賣ハアラユル物ニ付テ、成立チ得ルカ如キニモ聞ユ、然レトモ、賣專カ成立スルニハ、固ヨリ其條件ナルベカラス、其條件ニヨリテ其範圍ハ自ラ定マルベキナリ、然ラハ則チ其條件ハ何ソヤ。

專賣ハ其本質上ヨリシテ消費稅ヲ課スベキ物體ノ上ニ存セサルベカラス、即チ物體ハ日用品、嗜好品、飲料タラサルベカラス、更ニ換言スレハ一般ノ消費ニ供セラレヘキ多量生産品ナラサルベカラス、然レトモ一般ノ消費ニ供セラルヘキ多量生産品ト雖モ、財政學理上消費稅ヲ課スベカラズトナス物ニ對シテハ又專賣ヲ行フベカラザルナリ、例ヘハ穀物肉類ノ如シ、戰時ニ於テ穀物商業ヲ國家カ獨占スルモ

アリト雖モ、ソハ穀價ヲ調節シ穀物ノ分配ヲ過不及ナカラシムルカ爲メニシテ、消費稅ヲ課セントスルカ爲ニアラズ、故ニ官業ト云フコトヲ得レトモ茲ニ所謂專賣ト稱スルコトヲ得サルナリ、國家ノ穀物商業ノ獨占カ戰後ニ繼續セラルルトスルモ之カ爲ニ其性質ヲ變セス、從テ茲ニ所謂專賣ニアラサルコトハ依然トシテ異ル所ナシ、要スルニ專賣ノ目的物ハ消費稅ヲ課シ得ル多量生産品タラサルヘカラス之ヲ第一條件トス。

專賣ハ國家カ生産若クハ販賣又ハ生産販賣ヲ獨占スルモノナルカ故ニ、國家ノ生産若クハ販賣カ技術上困難ナラサルモノタルコトヲ要ス、美術工藝ノ如キ生産者ノ熟練ニ待ツコト多キモノハ專賣トナスニ適セズ、又生産ノ手續緻密ニ過クルモノモ同様ニ專賣トナスニ適セズ、從テ專賣トナスヘキモノハ生産ノ手續比較的單純ニシテ普通ノ熟練ニヨリ生産スルコトヲ得ルモノナルカ、又ハ機械ニヨリテ機械的ニ生産シ得ルモノナラサルヘカラス、*販賣ニ就テ云ヘハ容易ニ廢敗スルカ如キモノ又ハ枯レ萎ムモノ例ヘハ魚類蔬菜ノ如キモノハ國家ノ專賣ニ附スベキニアラス、要スルニ技術上國家ノ生産シ販賣スルニ困難ナラサルモノタルヲ要

ス、之ヲ第二條件トス。

專賣ハ又國家ノ獨占ナルカ故ニ、其企業カ容易ニ獨占トナシ得ルモノナラサルベカラス、ソレカ爲ニハ其企業カ人ニ於テモ亦處ニ於テモ比較的ニ集中セルモノナラサルベカラス、若シ企業カ全國ニ亘リ、無數ノ人ノ手ニ行ハルルトセン乎、之ヲ國家ノ獨占ニ移サンコト容易ニ之ヲ期スベカラズ、此點ニ於テモ國家ガ穀物ノ生産ヲ獨占スルノ不可能事タルヲ知ルベシ、國內ニ生産セラレズ專ラ外國ノ輸入ニ待ツガ如キ財ニ關シテハ、個人ノ輸入ヲ禁スレハ國家ノ販賣獨占ヲ行フコトヲ得ヘシ、此ノ如キ財ノ商業ニ就テハ又事實上、卸賣商ノ集中行ハルルヲ見ルナリ、

企業ノ集中ト云フモ必スシモ極ク少數ノ人ノ手ニ集マレルヲ必要トセス、然レトモ、企業者ノ數カ少ケレハ少キ程、專賣ニ移スコトハ容易トナルナリ、國家ハ其數ノ少キ企業ヲ買上ケハ忽チニ專賣ノ狀態ニ移ルコトヲ得レハナリ、我國ノ煙草專賣ヲ斷行シタル以前ニ於テハ正シク此ノ如キ狀態ニアリシナリ、今日ニ於テ多量消費品カ數個ノ會社ニヨリテ生産セラルルカ如キハ皆此條件ヲ具フモノト云ハサルベカラス、我國ニ於ケル麥酒釀造業製糖業石油業ノ如キハ即チ是ナリ、清酒釀

造ハ多クハ個人企業ニカ、リ素ヨリ之ニ比スヘクモアラスト雖トモ、近畿ニ於ケル個人造酒業ハ比較的大規模ニ行ハレ、其數モ強チ多キニ過クルモノニアラサレハ、必ズシモ專賣ヲ不能トスルモノニアラス。

企業集中カ極端ニ馳セハ、企業カ一ニ歸スルコト、亦之ナキニアラズ、「トラスト」ノ成立セル如キ其ノ一例ナリ、此ノ如キハ專賣ノ成ラサルニ先チ民間ノ獨占ノ成立スルモノト云ハサルベカラス、民間ノ獨占ヲ移シテ政府ノ獨占トナスコトハ社會正義ノ要求ナラザルベカラス、又相手ハ一會社若クハ「トラスト」ニ過キサレハ談判モ容易ナルカ如クニ見ユ、然レトモ天下ノ企業ヲ打シテ一トナスニ至ラハ其事實上ノ勢力仲々ニ侮ルベカラズ、從テ其談判ハ却テ困難トナルモ測リ知ルベカラズ、加之其企業カ一ニ歸ストセハ、既ニ獨占價格カ行ハレ、其企業家ハ莫大ノ純益ヲ收メツツアルモノト考ヘサルベカラズ、而シテ之ヲ買上クルニハ其收益ヲ標準トシテ之ヲ還元シタルモノヲ以テセサルベカラズ、果シテ然ランニハ政府カ之ヲ買上ケテ經營ヲナスモ、其之ヨリ得ル利益ハ殆ト買上價格ノ利子ニ充當セサルベカラサルコトトナリ、其當時ニ速ニ莫大ノ剩餘ヲ得ルコト到底困難ナリ、只人口ノ増

加、經濟ノ進歩ニ從テ其收入ヲ増スコトヲ得ルニ過キズ、是ニ由テ之ヲ觀レハ專賣ハ民間ノ獨占生セサルニ先テ之ヲ實行スルヲ得策トス。

要スルニ、專賣ヲ實行スルニハ企業集中ノ趨勢ヲ有スルモノハナラサルベカラズ、之ヲ第三條件トス。

學者或ハ是等ノ條件ノ外ニ企業カ不安定 (Beunruhigung)ノ状態ニ存スルコトヲ要ストスルモノアリ、Braun*ノ如シ、不安定トハ、其企業カ租稅政策工業政策等ニヨリ動搖ヲ受クルコトヲ云フ、然レトモ何レノ企業ト雖トモ國家ノ政策ニヨリテ動搖ヲ受ケサルモノナク從テBraunノ所謂不安定ト云フ状態ヲ生セサルモノナシ、加之假ニ企業カ安定セルモノアリトスルモ、之ヲ國定カ獨占シ專賣ヲ初ムルニ於テ何等妨クル所ナシ、只民間企業家ノ賣ルニ急ナラサルノミ、賣ルニ急ナラサルハ、絶對ニ賣ラサルモノトハ異ルナリ、要スルニ不安定ナル事實ハ專賣ノ條件トナスニ足ラサルナリ。

論者又或ハ民間獨占業ヲ國家ノ獨占ニ移スニ就テ、國家ノ財政ガ順境ニアリ (Stille Lage Finanzlage) 國家ノ政治ガ民衆主義 (Demokratie)ニヨリテ支配セラルルヲ條件ト

* Braun Elektrizitätsmonopola a. a. O. S. 586
 神戸博士 電氣事業ノ國家獨占 (本誌二號)

シ更ニ自然的獨占業ニ對シテハ勞働保護ノ設備完成セルヲ條件トスルモノアリ
 Kautsky*ノ如シ其理由ニ曰ク若シ一方ニ財政難ガアリ他方ニ民衆ノ勢力ガ國政
 ニ及ハサルトキハ民間獨占ヲ國家ノ獨占ニ移ストモ、消費物ノ價ハ高クセラレ、勞
 賃ハ低クセラレ消費者勞働者ハ壓抑セラルルヲ免レサルベク、勞働保護ノ設備ナ
 ケレハ民間獨占業ノ收入ソレ丈大トナリ、政府ノ買上値段レ又ケ高クナリ、買上
 後ノ收益ハ殆ト舉テ之ヲ買上價格ノ利子ニ充當セサルベカラサルコトトナルベ
 ク、勞働保護ノ設備ヲナサントセハ勢ヒ租税ニヨラサルベカラサルニ至ルベシト、
 勞働者ノ利益ノミヲ見ル社會主義者ノ説トシテハ聽クベシ、然レトモ、國家ノ政策
 ハ勞働者ノ利益ノミニヨリテ之ヲ決スベカラズ、專賣ハ財政難ヲ救フカ爲メニコ
 ソ其必要ヲ感スルコト強ケレ、財政カ順境ニ在ルトキハ、其必要ヲ感スルコト少シ、
 故ニ學者ハ財政難アル際ニ初テ專賣ニ依ルノ要アルコトヲ説ク位ナリ*。是レ殆
 ト論スルヲ要セサルコトナリ、Kautskyノ論ノ如キ、全ク財政ヲ無視スルモノト云
 ハサルベカラズ、加之Kautskyノ論ヲ以テスレハ、勞働者ノ天下トナラサレハ、專賣ハ
 行ハレサルコトトナル也、然ルニ吾人ハ、今日ノ資本主義ノ世ニ於テ、專賣ヲ必要ト

* Kautsky. Zur Frage der Steuern und Monopole (Die Neue Zeit. 33. Jahrg. 1Bd. Nr. 22. S. 679 ff)

** Conrad. a. a. O. S. 9. Heckel. Lehrbuch der Finanzwissenschaft Bd II. S. 31.

スル也。國家ノ政治ガ、民衆主義化スルヲ待ツニ暇アラサル也。勞働保護ノ設備ノ如キ、專賣ノ前ニ完成セルハ、望マシキコトナレトモ、之ヲ以テ專賣ヲ創ムルノ條件トスベカラズ、殊ニ我國ニ於テ然リトス、我國ニ於テハ工場法スラ尙實施セラルルニ至ラズ、若シ勞働保護ノ設備ノ完成ヲ待タバ殆ト專賣ヲ創ムル時機ナキニ至ラン、要スルニ、Kauskyノ説ハ專賣ノ條件トナスヲ得サルナリ。

二

以上ノ條件ニ照ラシテ之ヲ見ルニ煙草其他殖民地産品等ノ嗜好品、清酒、麥酒、火酒等ノ飲料、石油、電氣、瓦斯、燐寸、砂糖、鹽等ノ日用品ハ悉ク專賣トナシ得ベシ。專賣ト爲シ得ル企業ハ其範圍比較的廣シト云ハサルベカラズ、各國ノ實際ニ徴スルニ鹽、煙草、シガー、卷紙、火酒、燐寸、火藥等ニ就テ專賣ノ成立スルヲ見ル、然ラハ今後諸國カ專賣ノ範圍ヲ擴張スル餘地ハ十分ニ存スト斷セサルベカラズ、戦後ノ財政ハ夫レ專賣ノ範圍ヲ擴張スルニアラン乎。

我國ニ於テモ既ニ煙草、鹽等ノ專賣アリ、然レトモ專賣ノ野ハ十分ニ開拓セラレタリト云フヲ得ズ、今後財政難ノ生スル毎ニ專賣ノ野ハ次第ニ開ケ行クモノナル

コトヲ信ス。

專賣ハ狹義ノ官業ト異レトモ又廣義ノ官業ト云フコトヲ得、官業ヲ惡ムノ徒ハ專賣ノ範圍ノ擴張ヲ見テモ亦之ヲ喜ハサルベク必ス之ニ反對シテ曰ハン、是レ民有民營ノ制限ナリ、個人企業心ヲ害スルモノナリト、又曰ハン競争ヲ排除スルハ企業家ヲシテ眠ラシムルニ外ナラス、一國ノ企業ヲ衰ヘシムルモノナリ、又曰ハン、專賣ハ議會ノ監督制御ヲシテ困難ナラシムルモノナリト、是レ既ニ Conrad カ專賣ノ利害ヲ説キテ其弊トシテ擧ゲタル所 * Leroy-Beaulieu ノ又夙ニ道破セル所ナリ** 夫レ然リ民有民營ノ制限ハ制限ナリトハ雖モ、其範圍ハ前ニ述ヘタル如ク自ラ定マレルモノアリ、個人企業ノ餘地ハ決シテ狭シトナスベカラズ、是等ノ企業ニ活動ヲ失ヒタル企業家ハ又他ノ範圍ニ於テ活動シ得ルコト難カラズ、現ニ我國ニ於テモ煙草ノ專賣ニ於テ其業ヲ失ヒタル個人ガ他ノ企業ニ於テ大ニ活躍シツツアルナリ、專賣ハ強チ企業心ヲ痲痺スルモノト云フベカラズ、議會ノ監督ノ如何ニ至テハ又殆ント憂フルニ足ラサルナリ、我國ノ如キ財政監督ニハ議會ノ外ニ會計検査院アリ、又專賣ノ爲ニ官吏ハ増スト雖モ、之カ爲ニ代議士ノ選舉ニ影響ヲ及ホシ議

* Conrad a. a. O. 25

** Leroy-Beaulieu. Traité de la Science des Finances 8. ed. Tome 1. chap. XV.

會ニ政府黨ヲ送ルカ如キコト夢アルベカラズ、是カ故ニ專賣ノ反對理由ハ十分ノ根據ナシト云ハサルベカラズ、

* * * * *

之ヲ要スルニ戰後ニ於ケル財政難ハ收入ヲ大ニスルヲ要ス、專賣ハ、人民ニ苦痛ヲ感セシムルコト少ナクシテ多クノ收入ヲ生ミ出スノ性質ヲ有シ、優ニ此時世ノ要求ニ應スルコトヲ得ベク其範圍モ亦十分ニ之ヲ擴張シ得ベシ、專賣反對ノ説ノ如キ未タ聽クニ足ラサルナリ、余故ニ曰ハントス歐洲戰後ハ財政上專賣ノ重キヲ加フル時代ナラント。

論シテ茲ニ至リ、余ハ、余カ説ガ、我國言論界ニ於ケル一般ノ論調ト大ニ隔絶セルコトヲ自白セサルヲ得ズ、然レトモ、余ハ我國ニ於テモ余ガ説ノ實現セラレ、專賣ノ擴張セラルル日アラランコトヲ確信ス、其專賣ノ擴張ハ如何ナルモノヨリ始ムベキカニ至テハ、請フ他日ヲ期シテ之ヲ論セン。